

5月23日（土）に総会を開催します。皆様のご参加をお願いします。



昨年度の総会の様子

当日は、あいさつ、議事に引き続き、長谷川典明先生より「塙保己一先生と群書類従」と題した講演を予定しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、次の日程で平成21年度の総会を開催いたします。

日時 平成21年5月23日（土）午後1時30分
場所 本庄市児玉文化会館（セルディ）ホール



昨年度の総会の紙芝居

平成20年12月20日（土）に第2回塙保己一賞表彰式が行われました



第2回塙保己一賞表彰式

大賞には我が国初の全盲の医学博士である長尾榮一氏（77歳・東京都）、奨励賞には車イスバスケットの川上理恵氏（37歳・埼玉県）、貢献賞には点字ディスプレイを開発した樽松武男氏（61歳・埼玉県）と知的障害者の医療・教育に尽力した丸木希代氏（86歳・埼玉県）が受賞されました。

また、全盲のミュージシャン木下航志（きた こうし）さんによるピアノとボーカルのコンサートも開かれました。



塙先生の墓所



四谷の墓「前総検校塙先生之墓」

塙先生は、文政4年（1821）9月12日にご逝去され、翌年7月に四谷安楽寺に埋葬されました。

明治30年（1897）には、区画整理のため四谷安楽寺が廃寺になり、墓所は四谷愛染院に移されました。

本庄市の墓は、明治19年に四谷安楽寺の墓土を分葬したもので、生家の裏手にひっそりと建てられています。



本庄の墓「和学院殿心眼智光大居士」

平成20年9月12日に総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭を開催しました



総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭の様子

顕彰会では、塙保己一先生の命日である9月12日に、本庄市児玉文化会館（セルディ）で遺徳顕彰祭を開催いたしました。

当日は、塙先生の遺徳と事績をしるすので、ご来賓や金屋小学校の生徒をはじめ、参加者全員の方に献花をしていただきました。

また、社団法人温故学会の齊藤幸一先生による講演「塙保己一と群書類従の編さん～保己一の生涯と偉業を振り返る～」が行われ、塙先生の生前の様子が伺われました。（表紙写真参照）

平成20年10月18日（土）「塙保己一先生の遺徳をたどるバス研修」報告

バス研修の参加者36名は、好天に恵まれ、東京に旅立ちました。参加者は車中で配布資料の説明を聞き、塙先生を紹介するビデオ映像を見ました。

塙先生が活躍した江戸時代の時代背景や情緒を体験するため、江戸東京博物館を視察しましたが、「江戸ゾーン」には版木による出版の様子が展示されていました。

温故学会塙保己一史料館では、斎藤幸一さんの講演を熱心に聴き、その後、版木保管庫で「群書類従の版木」を見学しました。

帰りの車中で、参加者から感想を述べてもらいましたが、全員が参加したことに満足し、塙先生の偉業を知ることができ、バス研修を喜んでいました。



江戸東京博物館



温故学会での講演

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

（3）借金の証文

埼玉県指定歴史資料（昭和30年3月31日指定）

塙保己一の死後、息子次郎が相続しましたが大変な額の借金がありました。鴻池伊助に対しては総額千五百両もありましたが、次郎は新たに千五百両の借用証文を入れたので、父保己一の借用証文が伊助から五通返還されました。これはそのうちの一通です。内容は、文化十三年（一八一六）に塙保己一が鴻池伊助から、群書類従の開板用として、月五朱の利息で百両を借り、群書類従の配達金から返すと書かれた借用証文です。

宛名の鴻池伊助とは、本名は草間直方（くさまなおかた・一七五三～一八三一）。京都に生まれ、十歳の頃から両替商・鴻池家に奉公し、安永三年（一七七四）鴻池家の別家（べっけ）草間家の女婿となり、このころは独立して今橋で両替屋を経営していました。「但文字金也」とあるのは、八代将軍吉宗の元文元年（一七三六年）から発行された金銀貨幣のことです。年号の一字である「文」の字が極印として打刻されていたので、文字金（ぶんじきん）と呼ばれていました。

参考：「国史大辞典」、太田善麿「塙校の借財について」



顕彰会の会員を募集しています

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。まだ継続手続きをされていない方はお早めにお問い合わせください。また、会員の皆様も、知り合いの方をご紹介していただきますようお願いいたします。

年会費

個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

入会受付場所

本庄市生涯学習課（中央公民館）と本庄市児玉文化会館（セルディ）で受け付けています。

本庄市役所4階文化財保護課と児玉総合支所2階総務課では、平日にお預かりします。

※ 郵便振替でも申し込みできます。

会員の投稿を募集中です

顕彰会の皆様から塙先生に関する話題を投稿していただく投稿コーナーの記事を募集中です。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。顕彰会の会報誌は年3回発行予定です。

会員数をお知らせします

	平成19年度末会員数	平成20年度末会員数	比較増減
個人会員	923人	742人	△ 181人
賛助会員（団体）	33団体	43団体	増 10団体

平成20年度末（平成21年3月31日現在）の会員数は、個人会員742人、賛助会員43団体です。平成19年度末と比べて、個人会員は8割に減ってしまいました。

平成21年度は塙先生の業績を啓発して会員を増やしたいと思っておりますので、会員の皆様もご協力をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会のホームページ

30年くらい昔に塙保己一記念館の館長をされていた坂本正義さん（94歳）から、「群書類従について」という原稿用紙6枚の文章を投稿していただきました。

内容は、塙先生が編纂した群書類従のことについて、神祇部から雑部まで25部に分類され、文献資料1270種を530巻に収め、666冊に製本されたことや、収録された代表的な書名などが書かれています。

詳細は、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会ホームページに掲載させていただきます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会ホームページ <http://www.hanawahokiichi.org/>



編集後記

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会の事務局は、児玉文化会館（セルディ）に移転しましたが、入会手続きなどは本庄市中央公民館でも引き続き行っています。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

本庄市教育委員会 生涯学習課 児玉中央公民館（セルディ）内

所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851

FAX 0495-72-8854

そうけんぎょうはなわほきいちせんせいいとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第4号

平成21年5月発行



9月12日の遺徳顕彰祭で、温故学会の斎藤幸一先生の講演

ごあいさつ

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、設立後3年目を迎えますが、この会が存続できますことは、会員の皆様のご協力の賜物であり厚く感謝申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、塙先生のお名前や業績を広める為に、色々な企画を考えております。顕彰会の事業としては、総会を開催し、塙先生の命日である9月12日には塙先生の遺徳をしのぶ

遺徳顕彰祭を実施し、12月には埼玉県塙保己一賞の表彰式にご協力させていただきますが、今年の大規模なイベントとして、10月30日から11月3日にかけて全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」がさいたまスーパーアリーナで開催されますので、塙先生を全国にPRしたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会長 吉田信解

